

ホームステイ 台湾

野口 かな 福南中学校 2年生

1. 日本では体験できない英語の授業

台湾での授業は日本の英語の授業とは違って、印象に残りやすいと思いました。

台湾の学校には、実生活で使うバス停、税関、新幹線、飛行機、車、手荷物検査などの模型がありました。また、レストラン、家、スーパーマーケットの模型もありました。実際に私たちは授業で税関の手続きと、手荷物検査をしました。私の予想では、他の模型も使って英語の勉強をします。

私の学校の英語の授業のやり方は、教科書を見て、CDを聞いて、ペアの人と一緒に教科書を読みます。でも、台湾の学校は、プリントを見て、それを読んで、模型を使って、こんな感じの時に使うという体験をしながらやるので、わかりやすく勉強ができました。

私は体験しながら勉強をすると、わかりやすく、楽しくできるので、印象に残りやすく、英語が上手になるのではないかと、思いました。

学校の教室のバス停の模型です。
ここで英語の授業をします。



2. 新竹での生活

私のホームステイ先の家は、4階建ての細長い一つの家がたくさんある集合住宅となっていました。入り口にはシャッターがあり、そこから中に入ります。そこには駐車場がありました。家には玄関はなく、階段があり、そこから家の中に入ります。階段の横にはスリッパがあり、そこで靴を脱いでスリッパを履きました。家の中では部屋を除いた全てのところでスリッパを履きました。

トイレとシャワーはドアで分かれていましたが、同じ部屋にありました。お風呂はありませんでした。

庭は一つで周りの家の人と共同できれいでした。

台湾では皆が英名を持っていて、私が聞かれた時に「持っていない」と答えると、びっくりしていました。

お家の1階にある食卓です。
きれいでしょう？



3. 感想

私は台湾に行くまで、中国語に興味がありませんでした。でも、台湾に行き、そこで暮らしてるうちに、興味が湧いてきました。中国語にも日本語と同じような漢字があり、おもしろいなと思ったからです。また、日本と同じ漢字でも、読み方が違うものもあって、それもおもしろいな、と思いました。

今回のホームステイは私にとって大切なものでした。

理由は3つあります。

一つ目は英語を楽しく学べたからです。

二つ目は今まで難しそうに興味のなかった中国語に興味を持てたからです。

三つ目は英語だけでなく、他のいろいろな国の言葉を知りたい、と思うのにつながったからです。

私はホームステイが終わった時に、もっと長かったらよかったのに、と思いました。



東門城です。ホームシスターのAlisaと一緒にです。東門城はとてもきれいです。